

事務事業名	基幹システム運用管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	未来政策部	デジタル戦略課	基幹システム係	守屋 智浩

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		変化に対応できる行政経営		
	施策分野		機能的で強靱な組織運営		
	めざす姿				
根拠法令	名 称	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成24年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
基幹システム及び電子計算処理が必要な行政情報		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	599,546	586,113	509,911
	人件費	48,524	57,429	48,995
目 的	総事業費	648,070	643,542	558,906
基幹システムを適切に管理・運用することで、同システムを利用する課の業務の円滑化を図り、もって機能的で強靱な組織運営に寄与します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		4,491
		県支出金		0
		市債		0
		その他		113,988
		一般財源		391,432
		合 計		509,911
手段、手法【実施手法：直営・委託】				
・基幹システムの安定運用を行うため、常にシステム監視を行い、障害発生リスク軽減を図ります。				
・耐震性を備えたデータセンター等で基幹システムの機				

活動指標1	名称	システム稼働日数			単位	日
	内容説明	基幹システム稼働日数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	346	330	360	
		実 績	346	346	―――	
活動指標2	名称	端末設置数			単位	台
	内容説明	基幹システム操作用端末の設置台数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	570	570	570	
		実 績	570	570	―――	
活動指標3	名称	適用業務数			単位	業務
	内容説明	基幹システムを活用した処理が常に必要な業務				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	65	65	65	
		実 績	65	65	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

課 題	・「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に対応した適切なシステム運用を実施する必要があります。 ・基幹システムを使用した日々の業務を効率的に運用するために、必要に応じてシステム利用の手続を見直す必要があります。 ・「地方公共団体情報システムの標準化」への移行にあたり、市民サービスに支障が生じないよう、国が示す仕様に基づく運用をシステム利用課と調整の上、構築する必要があります。
------	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	基幹システムの安定運用・各種法制度改正に対して対応を行うとともに、対応期限が事実上延長された「地方公共団体情報システムの標準化」について、標準準拠システムの完成度を勘案しつつ、全業務の完了を令和9年度まで延伸しました。引き続きデータ移行や運用テストを進めていきます。					

事務事業名	情報システム運用管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	未来政策部	デジタル戦略課	情報システム管理係	守屋 智浩

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		変化に対応できる行政経営		
	施策分野		機能的で強靱な組織運営		
	めざす姿				
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
庁内ネットワーク		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	247,562	240,790	287,628
	人件費	30,299	32,128	40,562
目 的	総事業費	277,861	272,918	328,190
手段、手法【実施手法：直営】	8年度事業費（予算額）財源内訳			
・ネットワークシステムの常時監視を行います。 ・定期的に情報セキュリティ監査を実施します。 ・ネットワークシステムの機器や回線を適切に整備するとともに、組織構成に応じたパソコンの適正配置を行います。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			287,628
	合 計			287,628

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用端末台数			単位	台
	内容説明	端末の総台数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	1,680	1,680	1,820	
		実 績	1,680	1,680	――	
活動指標2	名称	情報セキュリティ監査の対象課			単位	課
	内容説明	情報セキュリティ監査を受検した課等の数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	22	18	0	
		実 績	22	18	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	ネットワークや情報セキュリティを取り巻く状況は日々刻々と変化しています。最新情報の収集を行い、庁内ネットワーク機器の構成を必要に応じて見直すことで、情報セキュリティの強化を図ります。					

27892
一般會計

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	- 各課がシステムを導入する際の伴走支援を強化しながら、その手法を適宜見なおしヒアリング（打合せ）回数の抑制等を図ることで、効率的かつ効果的なシステム調達の最適化を推進いたします。 - 市民の利用する公共施設予約システムや職員の利用する生成AIなどの既存システムについて、より良いシステムへの見直しを進め、市民サービスの質的向上と職員の業務効率化を一層図っていきます。 - D Xの推進に必要な職員のデジタルリテラシーについて、座学研修に加え、行政手続のオンライン化に係る取組や生成AIの職員利用などを介したOJTによる向上を引き続き図っていきます。					